

事務事業名	道路改良事業			担当	建設部 建設課 道路建設係			
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			増補版施策名			
施策名	4	道路ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰延（開始年度 昭和29年度～）			
予算科目	1. 一般会計	8. 土木費	2. 道路橋りょう費		3. 道路新設改良費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	・狭あい道路を解消し、安全で円滑な交通を確保することにより、効率的で機能的な道路ネットワークを構築する事業である。 ・真岡市生活道路整備指針に基づき、幹線市道網の整備、他事業関連道路整備及び生活道路の整備をする事業である。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
29年度実績 市道420・421号線(東中地区)、市道1045号線(西郷地区)、市道404号線(郷林地区)、市道2204号線(島地区)、市道3159号線(原町地区)、市道1042号線(西郷・下大田和地区)、市道1068号線(西郷地区)、市道4041号線(長田地区)、市道6172号線(扇島地区)、市道126号線(八幡地区)、市道2024号線(小林地区)、市道1205号線(台町地区)、市道4192号線外(八木間地区)、市道3118号線(堀内)、市道104号線(上大田和地区)、市道203号線(下郷新地区)、市道104号線(下大田和地区)、下大田一般道、下郷台一般道、上郷台一般道、下郷台一般道 計21路線 平成29年度完了路線 市道1205号線(台町地区)、市道4040号線(郷林地区)、市道2204号線(島地区)、市道1042号線(西郷、下大田和地区)、市道3118号線(堀内地区)		名称							
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)		
		ア	道路改良工事延長	m	737.5	272.2	646.3	2,495.0	1,398
		イ	用地買収	m2	56	3,423	7,463	2,704	2,198
		ウ	物件補償	件	7	43	43	56	15
		エ	測量、設計等業務委託	件	25	29	18	15	14
		オ							
30年度計画 市道245号線(長田地区)、市道1061・1075号線(西郷地区)、阿部岡一般道、石島一般道を新規に事業採択する。 計20路線		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 未改良道路及び道路利用者（市民）		名称							
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)		
		ア	未改良道路延長	km	349.7	349.3	349.1	348.7	346.8
		イ	道路利用者（市民）	人	80,698	80,590	79,422	79,542	79,414
		ウ							
		エ							
		オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 安全で円滑な交通の確保		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
		名称							
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)		
		ア	市道改良率	%	72.7	72.8	72.8	72.9	73.0
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 道路ネットワークの整備		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
		名称							
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)		
		ア	道路の整備状況が良いと感じている市民の割合	%	58.7	65.3	61.3	63.9	62.3
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	26,295	3,258	20,702	16,390	16,250
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	10,100	2,300	15,700	12,000	14,600	
		その他	千円	0	0	74,693	13,500	5,300	
		一般財源	千円	54,490	98,894	125,820	249,527	172,100	
	事業費計(A)	千円	90,885	104,452	236,915	291,417	208,250		
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	2,600	2,800	4,100	4,100	4,000	
		人件費計(B)	千円	10,975	11,732	17,027	17,015	16,600	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	101,860	116,184	253,942	308,432	224,850	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・地元区長及び関係者から道路改良（拡幅）整備申請書が提出されたことによる。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどのように変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・平成16年4月に「真岡市生活道路整備指針」を制定し、市内各地区から道路改良（拡幅）申請を受けた生活道路について、道路の利用状況・通学路の指定・公共施設の有無等を数値化し、「真岡市生活道路事業採択評価委員会」において総合評価を行い、5地区（真岡、山前、大内、中村、二宮）ごとに優先順位を定め事業採択している。 ・市内各区から多くの申請が提出されている。 ・平成28年4月に「真岡市生活道路整備指針」を改正し、申請後1年、10年、20年経過時に評価結果を書面により通知している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・地区住民から早期の事業完了を要望されている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・狭い道路を解消し、安全で円滑な交通を確保することは道路ネットワークの整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・道路は不特定多数の人が利用するものであり、市で行うことは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・道路利用者の連絡道路として、また地域住民の生活道路としても利用される道路の整備を実施することにより、安全で円滑な交通の確保を図るものであり対象と意図は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・各路線ごとの整備計画通りに進行している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・廃止・休止した場合、道路利用者及び地域住民は、通行に危険である狭い道路を通行しなければならない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・測量・設計業務、工事については、積算基準等に基づき適正に実施しており削減余地はない。 ・用地買収単価は土地評価額に基づき算定しており削減余地はない。 ・物件移転補償費は、損失補償基準に基づき算定しており削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・事業説明会から設計・工事の監督業務まで必要最小限の人員で行っている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・道路は、不特定多数の人が利用するものであり公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							